

令和7年度 前期

自己評価委員会

「やさしさ 元気 夢 いっぱい」

令和7年7月30日（水）

7月31日（木）

浜松市立東小学校

前期 自己評価委員会

《部別構成メンバー》全体：教務

やさしい子 (徳育部) ◎稲田、藤原、浅野、塩崎、晴日
元気な子 (体育部) ◎飯田、木野、伊藤、神田、茗荷
進んで学習する子 (知育部) ◎木下、柘植、笠原、一世、峯

《日程》

7月30日(水)

13:30

全体会(職員室)

○校長の話

○日程確認、調査結果報告(教務)

14:00~16:30

学年団部会

(低:ポプラルーム 中:保健室 高:職員室)

○前期評価結果分析(成果と課題)

○改善策(具体的な手立て)検討

7月31日(木)

8:30~10:45

徳育部・知育部・体育部 各部会

(徳:ポプラルーム 知:保健室 体:職員室)

○前期評価結果分析(成果と課題)

○改善策(具体的な手立て)検討

11:00~12:00

学年団部会・各部会 報告

○学年団部会 報告

低学年団 中学年団 高学年団

○各部会 報告

徳育部 知育部 体育部

○教頭の話 ※事後…「具体的な手立て」データ提出

《今後の日程》

2学期～

作成した「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」を基に教育実践を行う。

9月 8日(月) 第3回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

10月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

11月28日(金) 児童、保護者、職員、学校運営協議会委員アンケート配付・配信

12月 3日(水) 児童アンケート締切 ⇒集計

保護者、職員アンケート回答締め切り ⇒集計(教務)

12月23日(火) までは全アンケート集計、考察、資料作成・配付(教務)

1月 8日(木) までは、資料を各自で確認する。

1月 8日(木) 教育課程全体会②の中で第2回自己評価委員会を行い、来年度教育課程編成に生かす。

2月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

2月12日(木) 第4回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

3月上旬 学校評価の結果報告→市教育委員会指導課

学習指導要領

第4次浜松市教育総合計画(前期)「描く夢や未来の実現」

★主体性 ★多様性・包摂性 ★信頼・協働

八幡中学校区で目指す子供の姿
夢と希望をもち、たくましく生きる子供

◆学校教育目標

やさしさ 元気 夢 いっぱい

目指す子供の姿「『やってみたい』と考え、ともに動く子」

やさしい子

- 互いの顔を見て、時と場に合った挨拶や返事をする。
- 互いの個性を認め合い、協力し合う。

「見つめる力」と「かかわる力」の育成

キャリア・パスポートの活用

元気な子

- 自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。
- 目標に向かって、ともに励まし合い、楽しく運動する。

進んで学習する子

- 目標を決めて学習に取り組み、振り返りをし、次の活動の意欲につなげる。
- 相手の意見を最後まで聴き、自分の考えを深める。

特別活動を要としたキャリア教育の推進と充実

いじめや不登校の生まれにくい温かな学校・学級風土づくり

目指す学校の姿

- 安全・安心な生活が送れる学校
 - ・危機管理の徹底(健康安全/防災/防犯/情報)
- チームの力で着実に前進する学校
 - ・確かな情報共有と互いの強みを生かす役割分担
- 地域とともにある学校
 - ・社会に開かれた教育課程の具現化
 - ・コミュニティ・スクールの充実

目指す教師の姿

- 心理的安全性が確保された学級を目指す
 - ・互いの存在を大切に合える学級づくり
 - ・誰もが全力で考え、全力で対話できる安心感
 - ・ピア・サポート活動でコミュニケーションスキルを高める
- 授業と生徒指導は一体であるという意識で楽しい授業を目指す
 - ・自己有用感や自己肯定感を育み、共感的な人間関係を育成する授業
 - ・自己決定の場を提供する授業づくり
- 教職員同士が支え合い、学び合う同僚性

保護者・地域の願い

- コミュニケーション力
 - ・自分を伝える力
 - ・相手を思いやる心
- 自分の力で問題を解決する力
 - ・自律性
 - ・創造性

PTA 活動

地域自治会等

ボランティア
(保護者・図書・読み聞かせ
スクールガードリーダー等)

学校運営協議会
学校支援 CD

チーム東小

静岡文化芸術大学
学生ボランティア

SC ・ SSW
関係諸機関

ポプラ講座講師
匠(地域の職人)
招聘講師

やさしさ元気夢いっぱい



目指す子供の姿

「『やってみたい』と考え、ともに動く子」

やさしい子

元気な子

進んで学習する子

高学年

互いの顔を見て、時と場に合った挨拶や返事をする。

自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。

目標に向かって、ともに励み合い、楽しく運動する。

目標を決めて学習に取り組む、振り返りをし、次の活動の意欲を深める。

中学年

相手の顔を見て、挨拶や返事をする。

自分の心の様子が分かって、落ち着いた生活をする。

自分に合った目標を決め、友達と良さを認め合いながら、楽しく運動する。

目標を決めて学習に取り組む、振り返りを行う。

低学年

身近な人の顔を見て、挨拶や返事をする。

自分の心の天気に分かる。

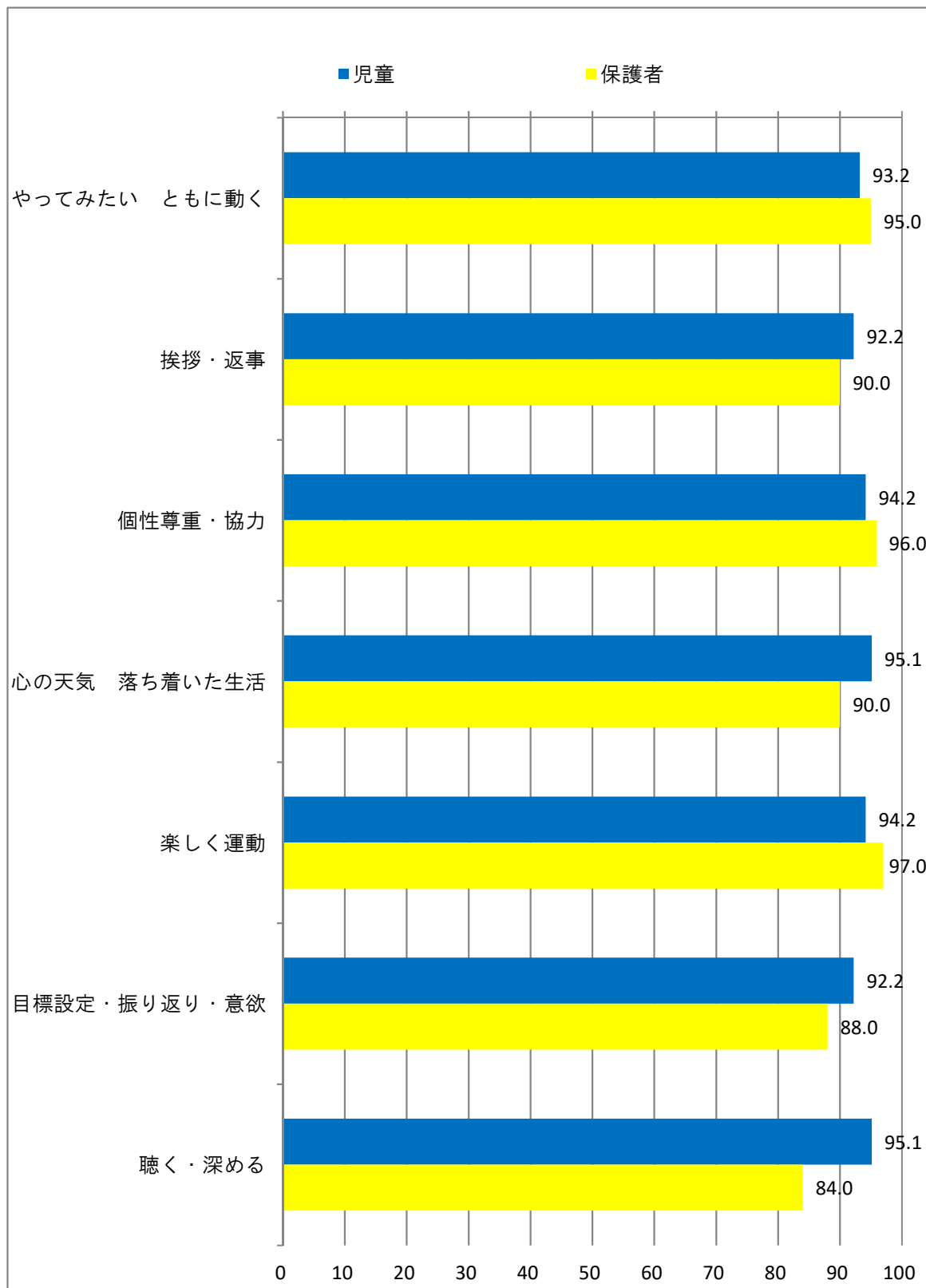
友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう。

目標を決めて学習に取り組む。

前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（低学年）

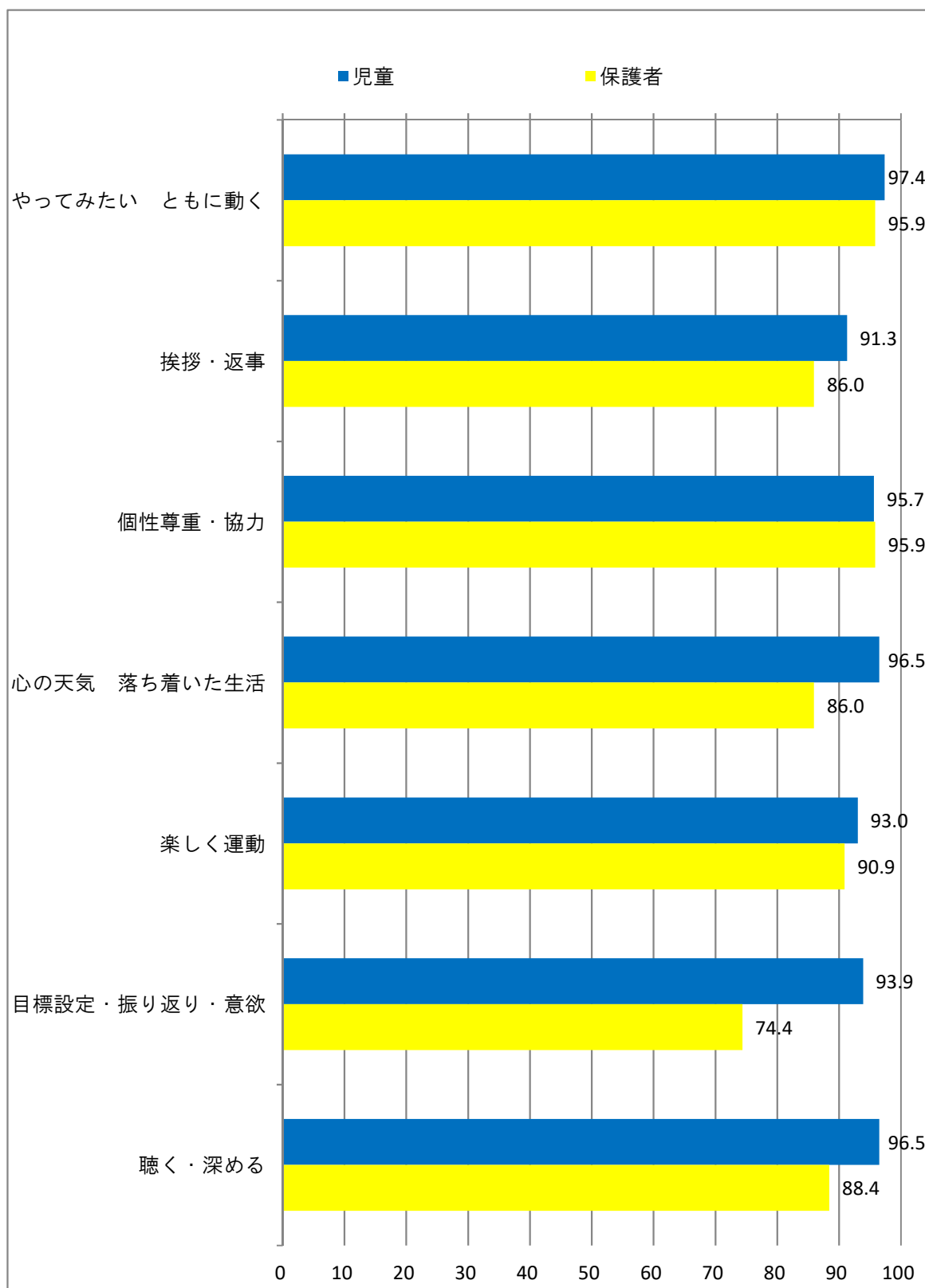
	児童	保護者
やってみたい とともに動く	93.2	95.0
挨拶・返事	92.2	90.0
個性尊重・協力	94.2	96.0
心の天気 落ち着いた生活	95.1	90.0
楽しく運動	94.2	97.0
目標設定・振り返り・意欲	92.2	88.0
聴く・深める	95.1	84.0



前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（中学年）

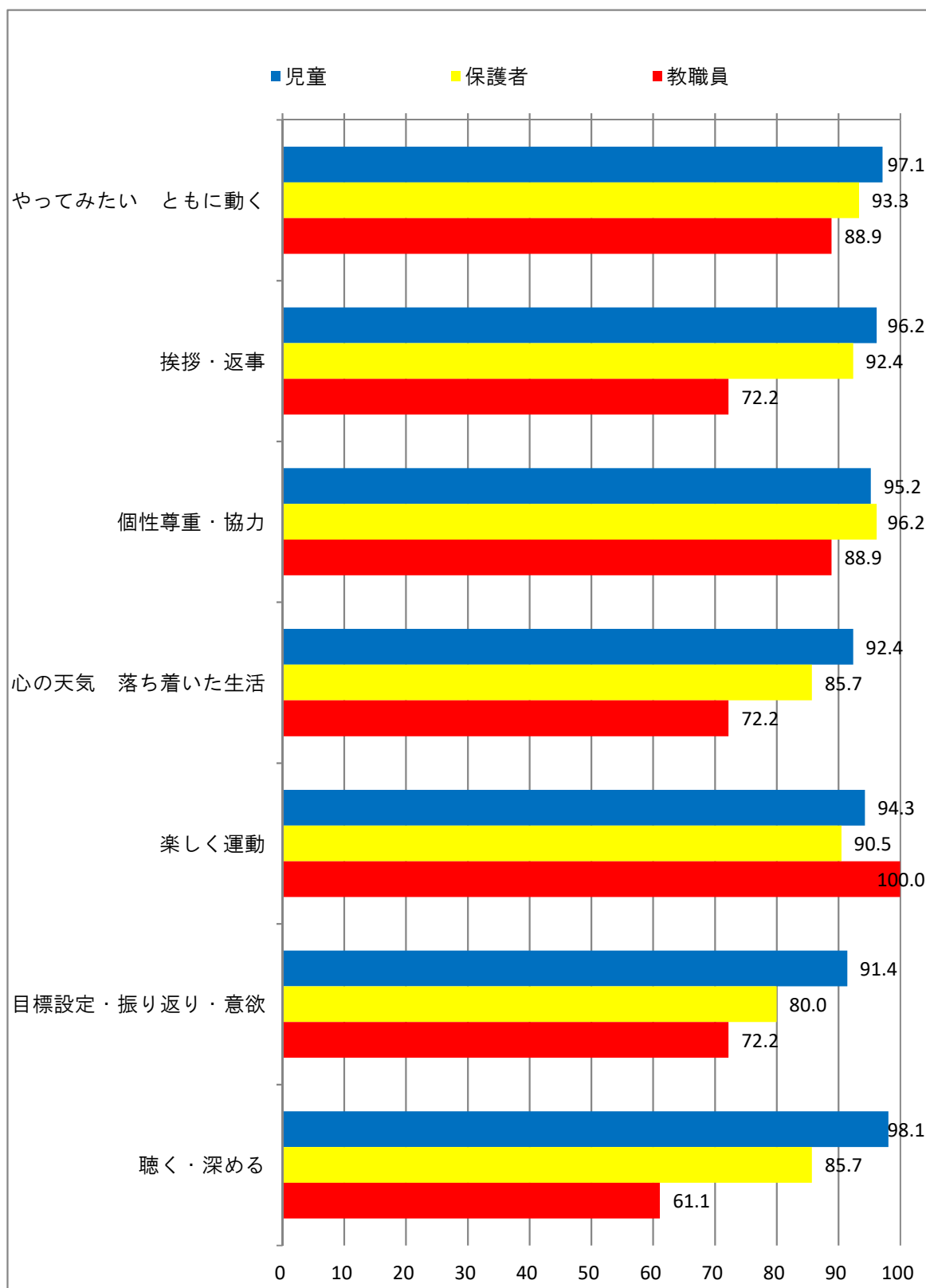
	児童	保護者
やってみたい とともに動く	97.4	95.9
挨拶・返事	91.3	86.0
個性尊重・協力	95.7	95.9
心の天気 落ち着いた生活	96.5	86.0
楽しく運動	93.0	90.9
目標設定・振り返り・意欲	93.9	74.4
聴く・深める	96.5	88.4



前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（高学年）

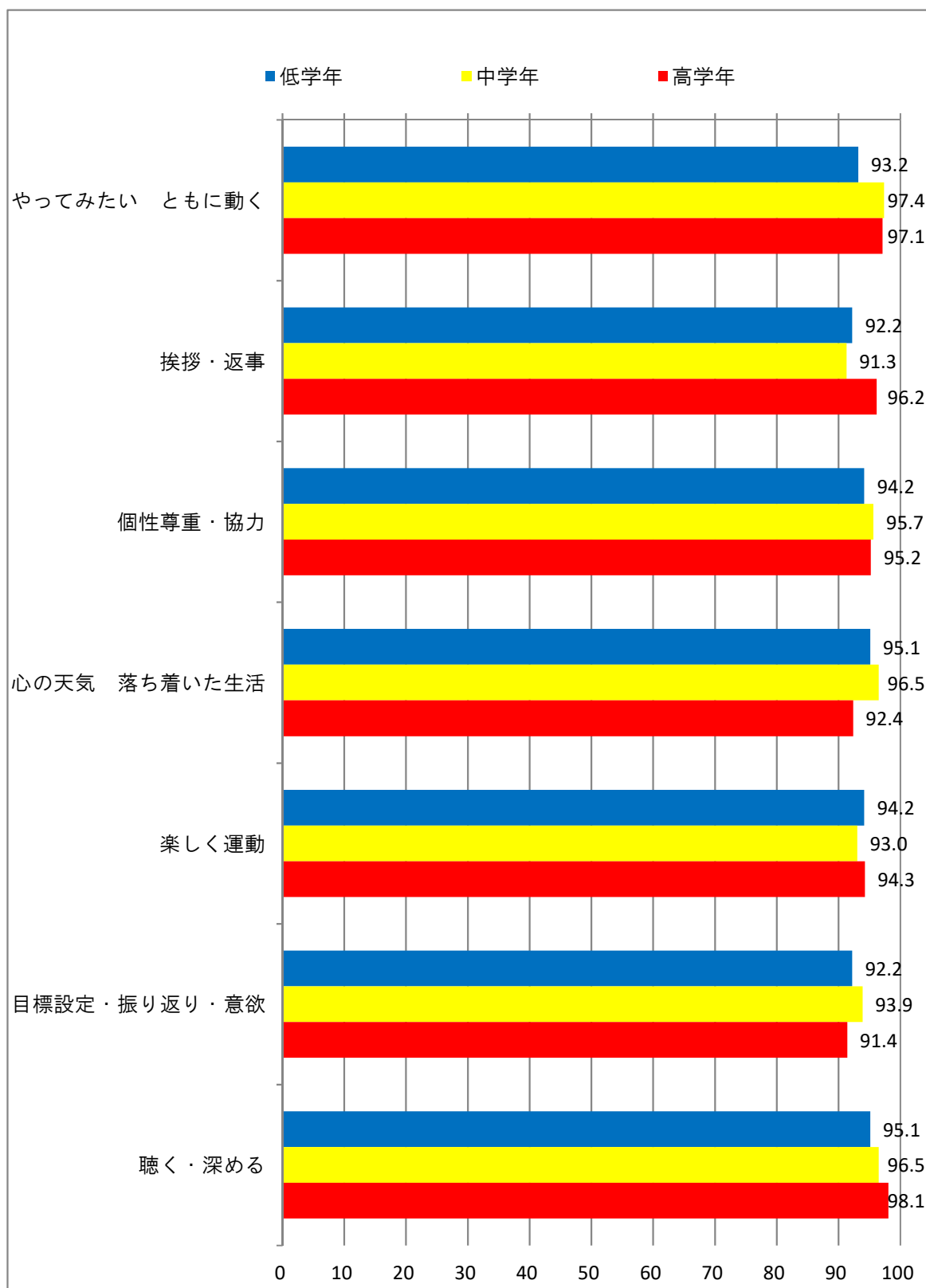
	児童	保護者	教職員
やってみたい とともに動く	97.1	93.3	88.9
挨拶・返事	96.2	92.4	72.2
個性尊重・協力	95.2	96.2	88.9
心の天気 落ち着いた生活	92.4	85.7	72.2
楽しく運動	94.3	90.5	100.0
目標設定・振り返り・意欲	91.4	80.0	72.2
聴く・深める	98.1	85.7	61.1



前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（児童）

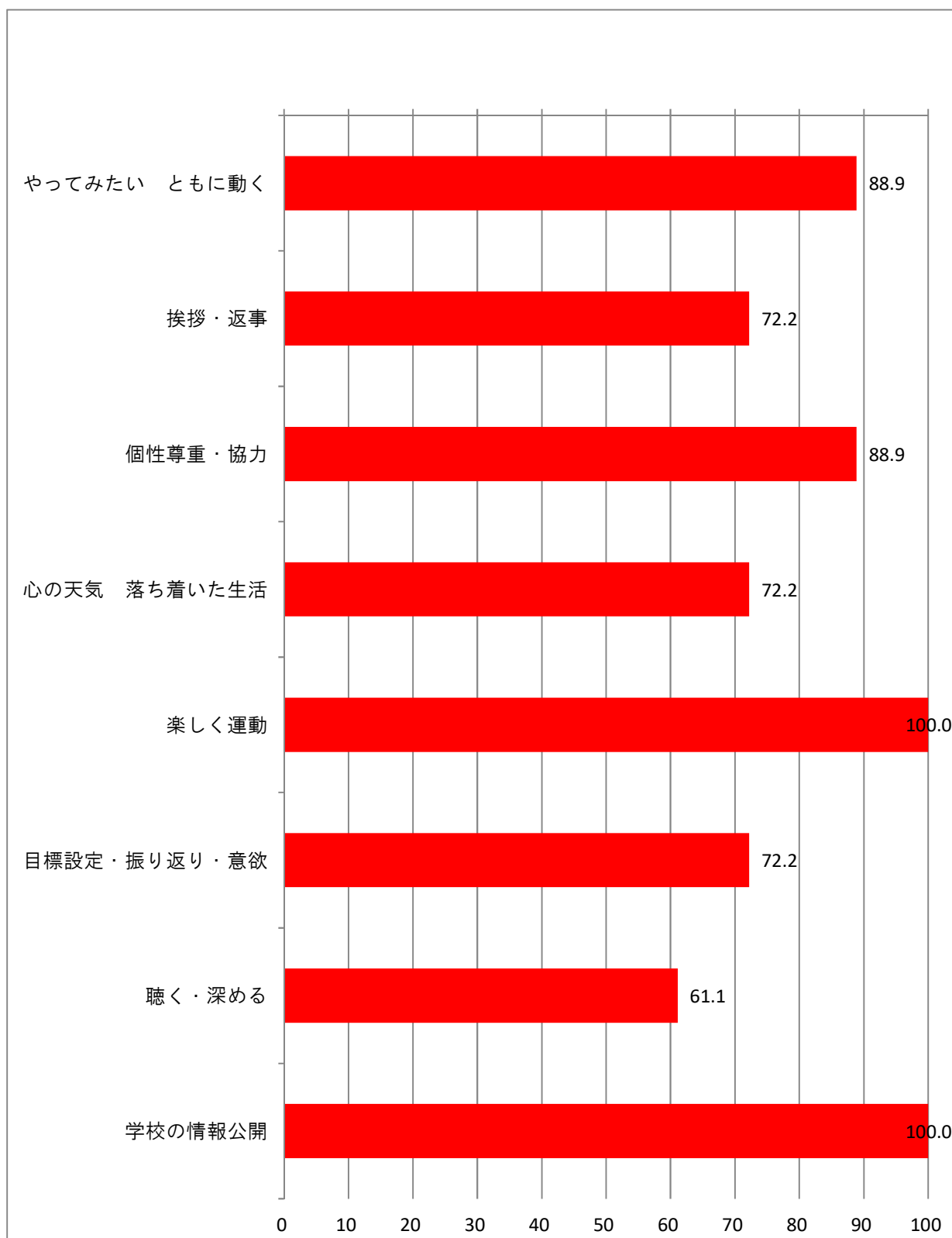
	低学年	中学年	高学年
やってみたい とともに動く	93.2	97.4	97.1
挨拶・返事	92.2	91.3	96.2
個性尊重・協力	94.2	95.7	95.2
心の天気 落ち着いた生活	95.1	96.5	92.4
楽しく運動	94.2	93.0	94.3
目標設定・振り返り・意欲	92.2	93.9	91.4
聴く・深める	95.1	96.5	98.1



前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（教職員）

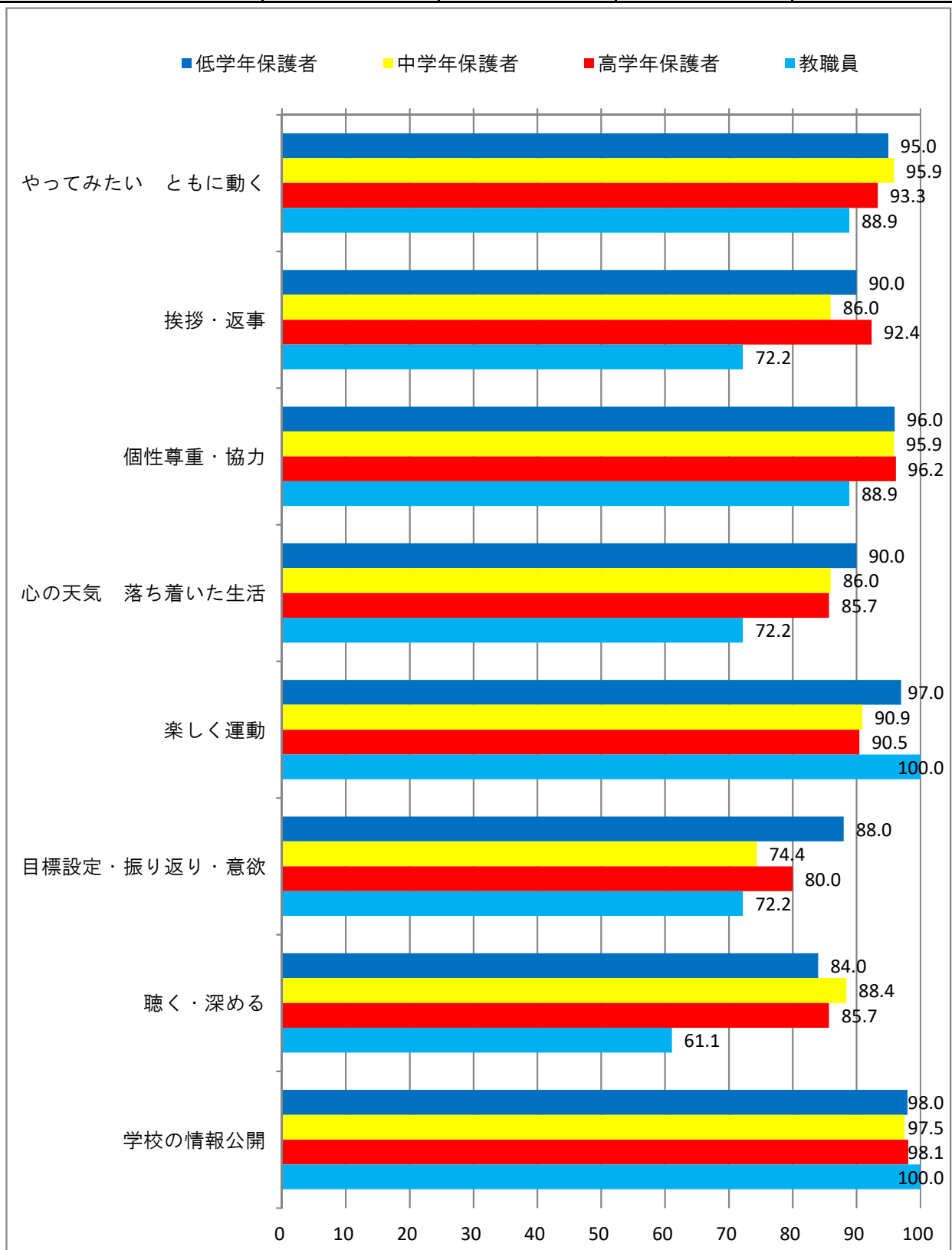
	教職員
やってみたい とともに動く	88.9
挨拶・返事	72.2
個性尊重・協力	88.9
心の天気 落ち着いた生活	72.2
楽しく運動	100.0
目標設定・振り返り・意欲	72.2
聴く・深める	61.1
学校の情報公開	100.0



前期

「そう思う」「少しそう思う」合計割合（保護者・教職員）

	低学年	中学年	高学年	教職員
やってみたい とともに動く	95.0	95.9	93.3	88.9
挨拶・返事	90.0	86.0	92.4	72.2
個性尊重・協力	96.0	95.9	96.2	88.9
心の天気 落ち着いた生活	90.0	86.0	85.7	72.2
楽しく運動	97.0	90.9	90.5	100.0
目標設定・振り返り・意欲	88.0	74.4	80.0	72.2
聴く・深める	84.0	88.4	85.7	61.1
学校の情報公開	98.0	97.5	98.1	100.0



自己評価委員会

重点目標達成に迫るための具体的な手立て 作成について

重点目標への取り組みについて、職員、保護者、子供たちのアンケートを基に、じっくり時間をかけて1学期の指導を振り返る時間にしていきたいでしょう。



自己評価委員会では、アンケートを基に「課題」を洗い出し、5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を踏まえて「課題改善に取り組む具体的な手立て」を明確にすることが大切です。

その手立てが具体的であればあるほど、後期の評価を行うときに、子供も職員も評価しやすくなります。（手立てが有効だったか、振り返ることができる。）

（例）

○「身近な人の顔を見てあいさつや返事をする」項目の評価が低いので、その項目を改善するために、毎月第2週目に、身近な人の顔を見て挨拶や返事をする人を学年でアンケート調査し（自己評価ではなく、他者が評価する。）、その結果を昼の放送で紹介し、称揚することによって、あいさつや返事をする子供を増やしていく。

○「相手の意見を最後まで聴き、自分の考えを深める」項目の評価が低いので、その項目を改善するために、「話を聴く時の3つのコツ」「分かりやすく話すコツ」について、学期始めの学級活動の時間に指導し、国語科、算数科の話合いの時に重点的に指導する。また、それらのコツができたかどうか、自己評価カードに○△×で自己評価する。また、その結果は月末に集計し、次の月への意欲につなげる。

○落ち着いた生活について、取り組み方に各学年の温度差があるので、毎週○曜日に「心の天気」に取り組むように位置付け、その結果について学級や学年、学校で共有し、次の週に生かしていく。

《注意点》

○自己評価委員会では、1学期教育活動の成果と課題を明らかにして、2学期以降重点的に取り組む課題を改善する「具体的な手立て」を明確にすることが大切です。

○具体的な手立てが明確化したら、2学期以降部別、学年団別に取り組み、後期の教育活動に生かしていきたいでしょう。

○学年主任、各部長は、事前事前配付される資料を基に、ある程度「課題」を明確にしておきましょう。また、全ての課題には取り組めないのもので、取り組む課題を絞り込んで考えましょう。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

() 年

やさしい子

成果

☐

☐

課題

☐

☐

課題改善に取り組む具体的な手立て

☐

☐

元気な子

成果

☐

☐

課題

☐

☐

課題改善に取り組む具体的な手立て

☐

☐

進んで学習する子

成果

☐

☐

課題

☐

☐

課題改善に取り組む具体的な手立て

☐

☐

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

() 部

成果

○

○

課題

○

○

課題改善に取り組む具体的な手立て

○

○